

## アイエムエス フューチャーデザイン

## 一貫した体制によるマルチメディア制作の可能性を広げる Premiere Pro

DV/SD 事例 : 全ての番組、企業 PV 制作に Premiere Pro を使用



大熊 伸幸氏 (左)、春名 剛志氏 (右)



© ベルーナ「リフレ」

## 会社

**アイエムエス フューチャーデザイン**  
 テレビ番組などの映像及び CG 制作を柱に、その周辺メディアであるウェブ、CD-ROM、DVD、また企業 PV など多岐に渡る制作を行う。  
[www.imsfd.jp](http://www.imsfd.jp)

## 使用製品

- ・ Adobe Premiere Pro
- ・ Adobe After Effects

新宿区に所在するアイエムエス フューチャーデザインは、フリーの 3 人のディレクターによって 1997 年に発足された制作会社。現在、テレビ番組などの映像及び CG 制作を柱に、その周辺メディアであるウェブ、CD-ROM、DVD、また企業 PV など多岐に渡る制作を行っている。

設立当時の同社の強みは、当時もまだ珍しいデジタル映像処理の知識を持ったディレクターの集まりであったこと。代表取締役の大熊 伸幸（おおくま・のぶゆき）氏が、長年信頼を持って使用している編集ソフトが Premiere だ。バージョン 2 の時代からのユーザーである。「当初、編集ソフトは 4 社ほどの選択でしたが、Premiere が一番使いやすかったです」と話している。

さまざまな入出力ボードも研究した大熊氏率いるアイエムエス フューチャーデザインは、現在、「Matrox X100」のシステム 4 機と「Matrox DigiSuite」のシステム 1 機を導入している。全ての機種では Premiere Pro が稼働している。Matrox のボードを選んだ理由については「Premiere Pro との融合性が優れているため」。また、アイエムエス フューチャーデザインの春名 剛志（はるな・たけし）氏は「Matrox 独自の豊富なエフェクトと Premiere Pro の持つエフェクト類を併せ持てば、制作の幅が広がります」と話している。

アイエムエス フューチャーデザインのスタッフ数は 20 人ほどで、うち 6 人はディレクターだ。ほかスタッフはクリエイター。ディレクターも含めスタッフ全員が、3ds max、Softimage、Light Wave などの 3D ソフトでの 3D 制作、After Effects での合成、Premiere Pro での最終仕上げと一貫したワークフローを行うスキルを持っている。

アイエムエス フューチャーデザインの最近の作品には、テレビ番組のオープニングや、CS スカイパーフェク TV の CM、日立や東京電力などの PV など数多くあるが、特に通販番組の制作はすでに 500 タイトルを超える実績がある。ディレクターとして、企画から制作まで携わっている大熊氏は、「当社では、通販番組をまったく新しいジャンルと捉えています。通販番組にも厳しい考査や売り上げに結びつかせるような多くのルールがあり、時代の移り変わりによる売り方の変化、考査問題など、状況に応じた制作を注視しています」と話す。



© 日立ハイテクノロジーズ「ここにも日立」



©HOMME「ハニーフレッシュ」



よみうり新聞 G+「本よみうり堂」

アイエムエス フューチャーデザインでの主なワークフローは、企画立案、DVC PRO50 や DVCAM での撮影、CG 制作、合成、編集、MA、完パケの書き出しを行う。制作の全ての工程はデジタルだ。納品形態がデジタルペータの場合は、Matrox DigiSuite などのシステムを介してデジタルペータに落とす。「当社では、DV をネイティブで管理できるシステムさえあれば DV を推進しています。DV は、AD 変換や DD 変換を繰り返す既存のシステムより、効率的に進行することができますし、画質も十分なクオリティーだと思います」と大熊氏は話す。

「Premiere Pro は、とても処理速度が早くなりました。タイトラーの Title Motion も統合され、タイトルの使い勝手も大変よくなりました。Premiere Pro のカラコレやエフェクト類など、全ての機能を駆使して制作に臨んでいます」と春名氏は話している。また、アイエムエス フューチャーデザインでは、MA 作業も Premiere Pro 上で行う。

「PC の発達と、After Effects のような機能豊富な合成ソフト、そして多様化されたフォーマットへの書き出しにも対応できる Premiere Pro のような編集ソフトの発達で、以前は何千万もするシステムが安価に手に入るようになりました。これにより、マルチメディア社会のニーズに沿った制作を行うことが可能です。当社では、デザイン性も重視して、今後の制作に備えていくつもりです」と大熊氏は語っている。

"500タイトル以上の  
通販番組をPremiere  
Proで制作。DVをリア  
ルタイム編集。そして  
デジベで納品"

アイエムエス フューチャーデザイン

#### お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD : Adobe Adovanced Dealer) で お買い求めください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビ システムズホームページ ([www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0470) へお問い合わせください。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・[www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)  
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

アドビカスタマーインフォメーションセンター (製品に関するお問い合わせ) 03-5350-0407

アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-60-3884 または 0120-61-3884

受付時間 9:30 ~ 17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Premiere Pro および After Effects は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2004 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

XXXXXXXX 0/02

